

第1部 特集 平成26年度のトピックス

1 緑のBIGカーテンプロジェクト始動！

市民による「緑の創出」と「生活スタイルの低炭素化」を促すことを目的に、まちなかに地球温暖化対策に有効な巨大グリーンカーテンを設置しました。

このグリーンカーテンから生み出される「涼」が、まちなかの「憩いスペース」となり、多くの来街者にグリーンカーテンによる日射の遮蔽効果を体感してもらいました。



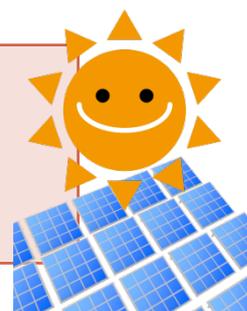
2 サイクルシェア（ふくチャリ）事業化！

福井市環境推進会議では自動車に依存しない「低炭素まちづくり」をめざして平成25年から2年間にわたりサイクルシェア社会実験を実施しました。この社会実験では **ふくチャリ** と名づけた電動アシスト自転車を福井駅周辺のホテルなどで貸し出し、自動車の利用抑制を図りました。社会実験の結果と事業化について、報告します。



3 鷹巣メガソーラー発電開始！

再生可能エネルギーの導入促進の一環として、発電事業者と協働して市有地にメガソーラーを設置し、平成26年7月に発電を開始しました。



4 環境学習プログラム運用開始！

平成18年度から「福井市学校版環境ISO認定制度」を運用し、市立の全幼・小・中学校において、計画的な環境活動の取組を進めてきましたが、平成26年度からは、これまでの制度に「ESD（持続可能な開発のための教育）」の視点を大切にした「福井市環境学習プログラム」を策定し、全校が取り組み始めました。



1 緑のBIGカーテンプロジェクト始動

地球温暖化対策の巨大なシンボルをまちなかの憩いの場に育成するプロジェクトを、西武福井店と協働で開始しました。カーテンの育成は、東安居小学校で環境教育の一環として「BIGカーテン」の育成に取り組んでいる、福井工業大学笠井研究室からの全面的な協力を頂き実施しました。

まちなかに緑の憩いを！

福井市は1世帯あたりの年間電気購入量が「県庁所在都市ランキング1位！」、温室効果ガスの排出量も増加傾向にあることから、市民へ「生活スタイルの低炭素化」を促す必要があります。

そこで……、西武福井店（正面）に

「緑 de 憩いスペース」を設置！

まちなかを訪れる多くの方にグリーンカーテンによる日射の遮蔽効果を体感できる「憩いスペース」を設けました。

緑の創出！

生活スタイルの低炭素化！

協働事業

西武福井店
福井市環境推進会議



植えるのは？

3種類の植物を組み合わせ、9月までずっと力強い緑のカーテンを形成！



ヘチマ

大きな葉っぱの
チームの主力

ゴーヤ

隙間を埋めるチームの
サポート役
実が食べられるのも魅力

アサガオ

2人が弱ってくると
アサガオの出番
花で彩りを与えます

収穫したゴーヤは

BIGカーテンから収穫したゴーヤは、福井市企業局G・Cookにて調理され、料理講習会参加者や駅前商店街を訪れた方たちにふるまわれました。



福井工業大学と東安居小学校の取組のご紹介！

福井工業大学笠井研究室では、大学近隣の東安居小学校、光陽中学校と連携し、ライフサイクル思考（LCT：Life Cycle Thinking）に基づいた新しい環境教育に取り組んでいます。

授業の中では、緑のカーテンによってもたらされる環境負荷削減効果と、緑のカーテンの設置に伴って発生する環境負荷量を定量的に計算した上で、最も環境に良い方法を議論し、決定しています。

研究室の学生の方たちと共にカーテンを育て上げていく中で、「本当に環境に良いのか？」を自ら考え実践することを子供たちは学んでいます。



2 サイクルシェア（ふくチャリ）事業化

平成 25 年 5 月 1 日から約 2 年にわたり、JR 福井駅周辺のホテルなどで電動アシスト自転車（愛称：ふくチャリ）を貸し出す社会実験を行いました。

この社会実験は、電動アシスト自転車を使ったサイクルシェアシステムを整備し、来街者や市民の公共交通の利便性を高め、自動車の利用抑制と環境負荷の低減を目的としたものです。

社会実験の結果は？

| | |
|-------|--|
| 実験期間 | 平成 25 年 5 月 1 日（水） ～平成 27 年 3 月 31 日（火） |
| 実験エリア | 中心市街地 |
| 貸出ポート | 11 カ所 |
| 貸出時間 | 8:00～21:00 |
| 貸出料金 | 4時間まで 200 円/回 1日 500 円/回 1泊2日 1,500 円/回 法人会員 6,000 円/年 (4 時間まで無料、以後追加料金) |
| 自転車台数 | 電動アシスト自転車「ヤマハ PAS City-C」 34 台（各ポート 2～6 台） |
| 貸出方法 | 貸出ポートの窓口で鍵を受け渡し、2 枚複写の伝票で自転車の移動を把握。毎週月曜日に自転車を再配置する。 |

利用実績とCO₂削減効果！

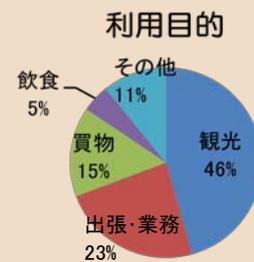
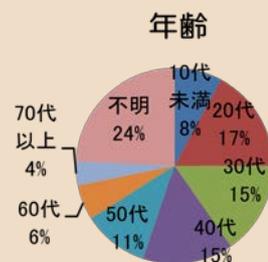
【総利用回数】 6,591 回（稼働率 27.7 %）
*平成 25 年度 2,440 回（// 約 21%）
*平成 26 年度 4,151 回（// 約 33%）

【CO₂削減効果】

2 年間合計 2,700 kg-CO₂
*算出根拠（利用状況から算出）
•平均利用距離 : 10 km
•車からの利用転換 : 15 %



利用者について



サイクルシェア事業の継続について

社会実験中の利用状況が良好だったこと、また自転車を活用した魅力あるまちづくりを推進する観点から、「福井市まちなかレンタサイクル運営協議会」（事務局：福井市自転車利用推進課）を設立し、「サイクルシェア事業」を本格的に運用することとなりました。

今後は、貸出ポートや自転車台数を増やすことにより、「ふくチャリ」の利便性を更に向上させ、自転車利用による環境負荷の低減と、観光振興および地域の活性化を図っていきます。



ふくくいの環境

3 鷹巣メガソーラー発電開始

太陽光を活用した大規模な発電事業(以下「メガソーラー」という。)は、地球温暖化防止はもとより、エネルギーの自給率向上に期待され、全国的にも遊休地を利用したメガソーラーの建設が各地で進められてきました。

福井市においても、再生可能エネルギーの導入促進の一環として、発電事業者と協働して鷹巣地区の市有地にメガソーラーの設置を行いました。



〈写真提供：(株)マルツ電波〉

事業経過について

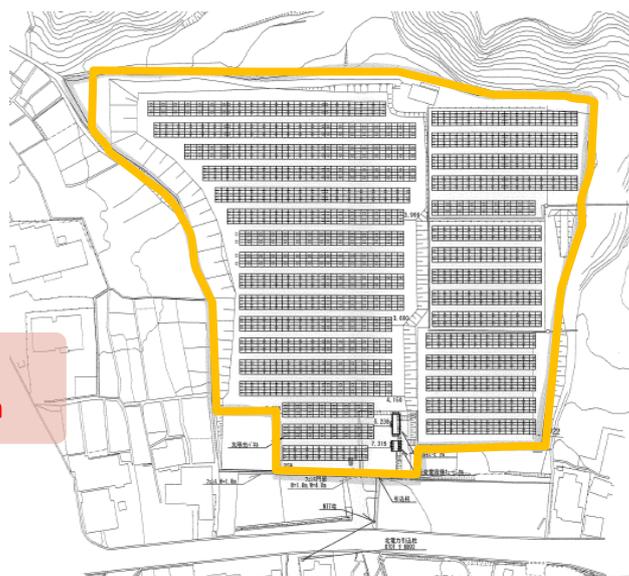
- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| • 平成 24 年 10 月 | 市有地対象にメガソーラーを実施する事業者を公募 |
| • 平成 25 年 1 月 | 事業者を(株)マルツ電波に決定 |
| • 平成 25 年 5 月～11 月 | 土地の造成(福井市) |
| • 平成 25 年 12 月～翌年 6 月 | パネル設置工事(株)マルツ電波) |
| • 平成 26 年 7 月 | 開所式、発電開始 |

発電規模

- 太陽電池モジュール
種類：サンテックパワージャパン製 多結晶
仕様：290W/枚
数量：3,804 枚
容量：1,103.16kW

モジュール出力
1,103 kW

年間予想発電量
1,041,600 kWh



二枚田川小水力発電事業

福井県の1市町1エネおこし事業を利用し、メガソーラー事業者、鷹巣地区の代表者等が参加する地域協議会を開催。二枚田川の小水力発電の可能性を検討し、再生可能エネルギーの普及啓発の意味から下流域(国民宿舎鷹巣荘付近)に小水力発電施設を設置することとなりました。

水車と発電機等をメガソーラー事業者が建設し、発電した電力の利用施設として市が外灯を設置することで事業を進め、平成26年11月には外灯が完成しました。

関係団体等へのデモンストレーションに用いるなど、再生可能エネルギーの普及啓発に活用していきます。



4 環境学習プログラムの運用開始

学校版環境 ISO から環境学習プログラムへ

学校における環境教育や環境保全活動を効果的に進めることを目的として、平成 18 年度から「福井市学校版環境 ISO 認定制度」を運用し、平成 20 年からは市立の幼・小・中学校全 69 校の教員、児童・生徒が役割分担を行い、計画的な環境活動の取組を進めてきました。

平成 26 年度からは、これまでの環境活動を継続する中で、持続可能な社会や未来のために行動できる人材の育成を図るため、それまでの制度に「ESD（持続可能な開発のための教育）」の視点を大切にし、発展させた「福井市環境学習プログラム」を策定し、全校が取り組み始めました。



ESD とは

「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development) の略称です。一人ひとりが自然環境や資源の有限性、地域の将来性など、様々な分野とのつながりを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動できる人材を育成する教育のことです。



※ 各校では、子どもたちが ESD で重視する能力・態度 (ex. 「多面的・総合的に考える力」や「コミュニケーションを行う力」、「進んで参加する態度」) を身につけられるよう日々の活動を工夫しながら、様々な環境への取組を実施しています。

環境学習プログラムの内容

● 「福井市学校版環境 ISO 認定制度」の取組

PDCA サイクルに基づき、取組内容を見直しながら継続します。

● 学校訪問・発表の実施

取組内容の確認やアドバイス、又は学校が取り組んでいる環境学習の PR を目的に、学校訪問の受け入れや環境イベントでの発表を行います。

● 教職員向け学習会への参加について

ESD の理解を深めるため、教職員向けの学習会を実施します。

